

自立活動の実践とICT支援体制の改革

高等部生を対象とした就学奨励費によるタブレット端末導入について-

茨城県立水戸飯富特別支援学校

1 本校のICT活用（教科指導における自立活動の内容を踏まえた支援）



小学部 生活単元学習「きれいにしよう」

- ・自立活動2-(2)を配慮
- ・正しくほうきを使えているか、自分のイメージと実際の様子を確認できるようにした。

中学部 体育「器械運動(マット運動)」

- ・自立活動5-(5)を配慮
- ・身体の動かし方について「遅延再生アプリ」を使用し、演技後すぐに自分の動きを確認できるようにした。

高等部 数学「買い物」

- ・自立活動2-(2)(3)を配慮
- ・買い忘れがないよう、自分で確認ができる買い物アプリを用いて、正しく買い物をしたり、計算ができるようにした。

導入における指針

- (1) モデルの選定及び購入
⇒学校のWi-Fiに接続することを前提にWi-Fiモデルを購入
⇒就学奨励費の予算内での購入
(iPad Air2 16G, iPadmini4 16G)
- (2) 本体の管理について
⇒学校のネットワークを使用するため、学校保管

2 就学奨励費によるタブレット端末導入

課題1 環境整備

- タブレットPC用スチールラックを購入し、管理方法を確認
- Wi-fi環境の確認

- ・タブレットPCのIPアドレスを確保
- ・校内の無線LANルーターの再設定
- ・生徒個人用APPLE IDとiCloudメールの取得方法を確認



課題2 指導との関連

- (1) 年間指導計画において総合的な学習の時間や自立活動において情報の内容や活用における指導内容を計画
- (2) 個別の指導計画では、国語数学を中心にタブレットPCを用いた手立てを記述(資料1)



課題3 必要性の確認

- 春の個別面談において「iPad購入に関するアンケート」(資料2)を参考に、タブレットPCの必要性や有効性について個別の指導計画と合わせて保護者と確認
- 面談内容をもとに高等部での再確認(資料3)

タブレットPC購入！

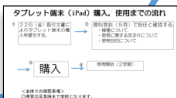
- 大規模家電量販店にて購入に関する打ち合わせ
- 保護者会及び振り込みで集金
- ⇒そして実践へ

購入者数:56名



課題4 購入までの手続き

- 1 「就学奨励費による学用品(タブレット端末)の購入について(お願い)」(資料4)を配布【4月中旬】
- 2 学部懇談における説明【4月下旬】
- 3 「就学奨励費による学用品(タブレット端末)の購入について(最終確認)」(資料5)を配布し、購入人数を確定【6月】
- 4 「就学奨励費によるICT機器購入・使用に関する約束」(資料6)を提出し、使用に関するルールも最終確認
- 5 事務部との連携(振り込み口座開設など)



課題5 iPadの一括管理

- 管理ソフト「Apple Configurator」(アップルコンフィギュレーター)
- ・一括管理は30台まで。電源付きのUSB HUBなどが必要
- ・無償のソフトであるがサポートはない
- ・MacOSのみで動作
- ・無料のアプリも一括管理可能